

東の風



やさしく
かしこく
たくましく

No.35

平成29年7月7日(金)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに自ら学びたくましく生きる子どもの育成

台風接近による臨時休校を実施した4日(火)は、心配されたほどの強風・強雨もなく学校にいた私達も拍子抜けするほどで、何よりでした。

休校は、子ども達の安全を第一に考えて判断が行われますので、何もなかったこと、それが一番良いことです。

一方、台風が通過していった進路より南の地方やその後の記録的大雨により福岡・大分方面では多大な被害が出ており、被害地域の皆様の今後の安全と、これ以上被害が大きくなること、少しでも早い復興を祈るばかりです。



昨年も学校便りで書かせていただいたのですが、激しい雨音や大雨のニュースを見るたびに思い出すこと。それは、私の身近なところで起きた大変つらく、そして悲しい災害のことです。

11年前、2006年の9月16日、前日の夜から当日の朝にかけ、台風接近の影響で長崎や佐賀の北部に大雨が降っていました。(1時間に70~80ミリ以上、局地的には100ミリ以上の雨だったそうです。)そして午前8時半頃、激しい「鉄砲水」が発生し、私が勤務していた学校の保護者の方と高校生の娘さんが巻き込まれ、亡くなりました。保護者の方はPTAの役員さん、前日の夜も教頭であった私は電話でお話させていただいたところでした。また娘さんは私の息子と同じ高校の同学年でした。当日は土曜日でしたが、学校では大学受験の模試が行われることになっていました。あまりの大雨で、模試が実施されるのか、中止なのか懸念される状況であったため、学校の連絡を待っていました。結局中止となったのですが、遠方(20キロ以上)から通っている子ども達は試験の開始時刻に遅れないように既に早目に自宅を出ており、その為、お父さんの車で登校中の事故となってしまいました。誰もが、突然の悲報に声を失いました。

災いは突然に。。。だからこそ備えましょう!

最近では日本各地で、地震も頻発、台風や大雨による大きな災害が毎年のように起こっています。テレビや新聞、インターネット等による報道で伝えられ、目の当たりにする様々な災害。誰もが、まさかそんなことが自分の身に襲い掛かってくるとは思っていないのではないのでしょうか。(なんとなくそんな思いはあっても、実感としては薄いのではないのでしょうか?)

当然のことですが、自然は私達人間がコントロールできるものではありません。自由に制御はできません。災害はじわじわと、あるいは何の前触れもなく突然にやって来ます。そして自分自身の命や家族、家、土地、財産、思い出・・・大切なものを一気に奪い去っていきます。まだまだこの雨は続くようです。梅雨明けもまだまだ先であり、その後から秋にかけて台風シーズンも控えています。

今回の災害を基に、「命を守るための行動」について各学年において、改めて指導をしたところです。子ども達の命を守るために、学校としての危機管理体制を再確認し、しっかりと構築すると共に、子ども一人一人に「自分の命は自分で守る」ための「危険予測能力」や「危険回避能力」を確実に身に付けさせたいと思います。

7月の行事予定

- 6日(木) 平戸市教育委員会学校訪問
- 7日(金) 授業参観・懇談会
校内基礎学力テスト
- 8日(土) がわっば祭
- 17日(月) 海の日
- 20日(木) 第1学期終業式
- 21日(木) ~夏休み(8月31日まで)
- 24日(月) 夏休み学習教室
- 25日(火) 夏休み学習教室・個人面談
- 26日(水) 夏休み学習教室・個人面談



7月8日(土)に開催される「がわっば祭」では、田平地区の子ども達の作品が展示されます。もちろん本校児童の作品もあります。「がわっば相撲」や「がわっば御輿行列」に加え今回は「仮想コンテスト」なども行われ、子ども達が多数参加するようです。

子ども達は地域で学び、地域で育つ、立派な地域の一員です。地域や地域の方々にお世話になるばかりでなく、地域の為に地域の一員として積極的に参加しようとする事は喜ばしいことです。マナーをきちんと守って参加してほしいものです。

活躍を期待しています。

